

東京総合美容専門学校  
2025年度 自己評価報告書

学校法人佐々木学園

東京総合美容専門学校

## 評価項目の達成度及び取組状況

### 1. 教育理念・目標

| 評価項目                               | 適切：4 ほぼ適切・3 やや不適切：2 不適切：1 | 評価 |
|------------------------------------|---------------------------|----|
| 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが定められているか     |                           | 4  |
| 理念・目的・育成人材像を実現するための計画・方法を持っているか    |                           | 3  |
| 理念・目的は、社会のニーズなどに対応し適宜見直されているか      |                           | 4  |
| 理念・目的・育成人材像等が教職員に周知され、学外にも公表されているか |                           | 4  |

#### ①課題

4年前に本学園のミッション、ビジョン、バリュー（M・V・V）を明確に定めた。各自のデスク上にM・V・Vがと年度目標を記載した盾を置いたり、メールの署名欄にミッションを明記したりして浸透を図るようにしている。しかし、M・V・Vにそぐわない言動や行動がみられることもあるので、さらなる浸透を図っていきたい。

#### ②改善方法

M・V・Vにそぐわない発言や行動があった際に、個々に注意・指導を行うことはもちろんのこと、改善すべき事例として学園全体で共有していくことが重要である。

#### ③特記事項

採用の最終面接時には、M・V・Vを読んでいただき、感想を聞かせていただいている。教育現場に携わりたい人材が多いので、共感していただくケースが多い。

### 2. 学校運営

| 評価項目                           | 適切：4 ほぼ適切・3 やや不適切：2 不適切：1 | 評価 |
|--------------------------------|---------------------------|----|
| 目的・目標に基づき、運営方針は明確に定められているか     |                           | 4  |
| 目的・目標を達成するための事業計画が定められているか     |                           | 4  |
| 意思決定のシステムは確立されているか             |                           | 4  |
| 人事処遇に関する制度は整備されているか            |                           | 3  |
| 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか        |                           | 3  |
| 業界や地域社会に対するコンプライアンス体制は整備されているか |                           | 4  |
| 教育活動に関する情報公開が適切になされているか        |                           | 4  |
| 業務効率化を図る情報システム化がなされているか        |                           | 4  |

#### ①課題

一昨年から学園2校の業務を横断で行う組織になったことで、合理的になった部分と逆に

会議の頻度が増える等、負担になってしまっている部分も出てきている。  
 また、今年度から成績管理システムが新しくなるので、利用方法等に慣れるまで時間がかかると推察される。

#### ②改善方法

会議の開催頻度を減らすために、チャットやスプレッドシートの活用が進んできた。  
 新システムの稼働には、先行して導入した姉妹校のメンバーの協力が必須となる。

#### ③特記事項

昨年から新設された国際ビューティーコースでは、留学ビザの更新や諸手続きの事務業務の遂行に心配な面もあったが特に問題なかった。

### 3. 教育活動

| 評価項目                               | 適切：4 ほぼ適切・3 やや不適切：2 不適切：1 | 評価 |
|------------------------------------|---------------------------|----|
| 理念等に沿った教育課程の編成・実施方針を定めているか         |                           | 4  |
| 修業年限に応じた教育達成レベルを明確にしているか           |                           | 4  |
| 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか            |                           | 4  |
| キャリア教育・実践的職業教育の視点に立ったカリキュラムになっているか |                           | 4  |
| 授業評価を実施しているか                       |                           | 4  |
| 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか             |                           | 4  |
| 目標とする資格・免許は、教育課程上で明確になっているか        |                           | 4  |
| 資格（免許）の指導体制は整っているか                 |                           | 4  |
| 資格・要件を満たした教員を確保しているか               |                           | 4  |
| 研修会など教員の資質向上への取り組みを行っているか          |                           | 3  |
| 業界等との連携による教員の技術向上の機会を確保しているか       |                           | 4  |
| 教員たちが連携を図れる組織体制を整備しているか            |                           | 4  |

#### ①課題

昨年度をもって退職する教員が複数でてきた。2名の中途採用者を迎えるが、未経験者であるので既存の教員達によるアシストが必要になる。

#### ②改善方法

新人教員 2 名が孤立しないようなクラス編成と役割分担を行うことが大切となる。その辺りについては、組織を作る学校長が工夫をしていただければと思われる。1年間、経験不足によるトラブルを想定して運営していきたい。

### ③特記事項

昨年から、全教室に電子黒板を導入した。実技・学科共に教員達が工夫して利用をしている。学生達も操作に慣れてきており、教育効果の向上が図られている。

### 4. 学習成果

| 評価項目                  | 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1 | 評価 |
|-----------------------|---------------------------|----|
| 就職率の向上は図られているか        |                           | 4  |
| 資格・免許の合格率の向上が図られているか  |                           | 4  |
| 卒業生・在校生の社会的評価を把握しているか |                           | 3  |

### ①課題

内定状況や資格取得については、常に高い数字で推移している。美容業界全体的に人手不足が続いているので就職環境は引き続き良好であると思われる。それだけに、学生達が自分自身とのマッチングをしっかりと判断して入社を決めて欲しい。

### ②改善方法

一昨年前からスタートした『夢を叶える授業』の効果に期待したい。実施後のアンケートでは、多くの学生が自己成長感を持つことができたようなので、就職力向上に奏功している。

### ③特記事項

美容業界全体として手厚い処遇をしていただける会社が増えている。初任給のアップはもちろん、奨学金の返済補助や多様な休日休暇を取得できる企業が出てくるなど、業界としては明るいニュースが多くなっている。

## 5.学生支援

| 評価項目                               | 適切：4 ほぼ適切・3 やや不適切：2 不適切：1 | 評価 |
|------------------------------------|---------------------------|----|
| 就職に関する支援組織体制は整備されているか              |                           | 4  |
| 退学率の低減が図られているか                     |                           | 3  |
| 学生相談に関する体制を整備しているか                 |                           | 4  |
| 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか           |                           | 4  |
| 学生の健康管理を担う組織体制は整備しているか             |                           | 4  |
| 学生の生活環境への支援は行われているか                |                           | 4  |
| 課外活動に対する支援体制は整備されているか              |                           | 3  |
| 保護者と適切に連携しているか                     |                           | 4  |
| 卒業生への支援体制はあるか                      |                           | 3  |
| 社会人ニーズを踏まえた教育環境が整備されているか           |                           | 4  |
| 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか |                           | —  |

### ①課題

学生のメンタルヘルスケア対策として、外部の会社に相談窓口を開設していただいていたが、利用人数が年間1名程度だったので継続しないことも検討したが、今年度は8名と多くの学生が相談している実績があることが分かり、継続を更新することになった。

### ②改善方法

相談数の増加が、退学者の減少やその他のトラブルの減少につながっているかは不明である。新年度からは、相談窓口をお願いしている会社の利用状況報告が、ポータルサイトで随時把握できるようになったので、少しは相談の効果を確認できるかもしれない。

### ③特記事項

昨年より、美容室への再就職支援の取組をスタートさせた。相談件数は、数件で具体的な稼働には至っていないが、継続をしていく。

## 6. 教育環境

| 評価項目                             | 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1 | 評価 |
|----------------------------------|---------------------------|----|
| 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具を整備しているか |                           | 4  |
| 校外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか |                           | 3  |
| 防災・安全管理に対する体制は整備されているか           |                           | 3  |

### ①課題

数年前から導入した学科試験対策のアプリ『モノグサ』、昨年からは、全教室に電子黒板を導入した。学習効率を高める ICT 教育への移行を進めている。一方で、防災・安全に関する体制整備はあまり取組ができていない。

### ②改善方法

防災・安全に関する取組について、一度消防署等へご意見をいただきに行くことで、学園にとって理想的なアクションを模索して行きたい。

### ③特記事項

しばらく中断していた海外研修を再開する。また、既存のインターンシップやスチューデントサロンも好評なので引続き継続したい。

## 7. 学生募集と受入れ

| 評価項目                       | 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1 | 評価 |
|----------------------------|---------------------------|----|
| 学生募集活動は、適切かつ効果的に行っているか     |                           | 3  |
| 学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか |                           | 4  |
| 入学選考基準は明確になっているか           |                           | 4  |
| 入学選考は、適性に行われているか           |                           | 4  |
| 学納金は、妥当な金額設定になっているか        |                           | 4  |

### ①課題

本校の特色である業界のトップに学ぶ授業の打ち出しが弱い印象があった。

### ②改善方法

ご登壇していただく企業の社数や具体的な時間数を明確に打ち出して他校との差別化をしっかりと図っていききたい。

### ③特記事項

独自の給付奨学金制度『スペシャルサポート制度』の選考方法は、応募者の負担軽減を図る

ために、実技を無くし自己PRは動画での提出とし、筆記試験もオンラインでの実施へ変更した。

## 8.財務

| 評価項目                      | 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1 | 評価 |
|---------------------------|---------------------------|----|
| 学校及び法人の中長期的な財務基盤は安定しているか  |                           | 4  |
| 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか |                           | 4  |
| 法律や寄付行為に基づき、適切に監査を実施しているか |                           | 4  |
| 財務情報開示の体制は整備されているか        |                           | 3  |

### ①課題

様々な物の価格が値上がりしている中、学費の引き上げを検討したいところであるが、他校との兼ね合いを考えると簡単に判断できない。

### ②改善方法

今まで以上に経費に関する節約意識を持ち、合理的な授業・イベントを運営していくことが重要である。

### ③特記事項

事務手数料の徴収や補講代金支払いにおいて、券売機の導入やコンビニ払いにしたことで、現金の取扱いが大幅に減ってきた。

## 9.法令等の遵守

| 評価項目                               | 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1 | 評価 |
|------------------------------------|---------------------------|----|
| 関係法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされているか |                           | 4  |
| 個人情報保護に関する対策が取られているか               |                           | 4  |
| 自己評価の実施体制を整備し評価を行っているか             |                           | 4  |
| 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか          |                           | 4  |
| 学校関係者評価結果を公表しているか                  |                           | 4  |

### ①課題

一部の教職員の労働時間が多くなっている。人員減が大きな要因であるが欠員補充が間に合っていない。

### ②改善方法

今まで広報業務は大卒者を採用してきたが、本校の卒業生の美容経験者を採用していき

い。本校への愛校心や美容経験が業務遂行には大きな武器になると考えている。

③特記事項

労働関係の法改正には、顧問弁護士や社会保険労務士に相談しながら就業規則の変更を行っている。

10.社会貢献・地域貢献

| 評価項目                            | 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1 | 評価 |
|---------------------------------|---------------------------|----|
| 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか |                           | 4  |
| 国際交流に取り組んでいるか                   |                           | 3  |
| 学生のボランティア活動を推奨し支援を行っているか        |                           | 3  |

①課題

学校のマルチホールや教室を外部への貸出する事業を行っている。施設・設備の老朽化に伴い、修理や買い替えが一定程度発生している。

②改善方法

修理や買い替えの費用を補うため、貸出料金の改定を検討している。

③特記事項

昨年からスタートした国際ビューティーコースの募集により、日本語学校の方々や留学生との接点が増えている。